

言語文化

指導目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教材	教科書：「新編言語文化」（東京書籍） 学習書：（仮）「言語文化」（NHK出版） ネットレポート	レポート	全9回
		面接指導	必要時間数：1時間（※面接指導減免6割の学習者は必要2時間）
		放送	全84回（テレビ WEB視聴可）
		効果測定・試験	中間到達度チェック（9月）・年度末試験（1月）

単位	3単位
評価	【①知識・技能】主に中間到達度チェック、年度末試験での成果にもとづき評価します。（一部、レポート課題の成果も含まれます。） 【②思考・判断・表現】主にレポート各回の学習内容・成果にもとづき評価します。 【③主体的に学習に取り組む態度】レポート提出状況（提出期限）、スクーリング出席状況（必要時間の出席充足）、放送視聴状況にもとづき評価します。 上記①～③の総合評価により、年度末に5段階で評定を決定します。

月	添削指導（レポート）		面接指導（スクーリング）		放送（NHK高校講座）		オンライン指導	中間到達度チェック 年度末試験
	回数（提出期限）	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容・範囲
4			1	①「言語文化」ガイダンス ・主体性を持って言葉を扱う姿勢を培う。 ・今使っている言葉と、古文、漢文の言葉とのつながりを意識する。 ・身近な出来事や自身の感覚を、作品中の話題と重ねて読む意識を持つ。	1 2 3 4	古文入門 「古文に親しむ」 『宇治拾遺物語』児のそら寝① 『今鏡』白波と用光	「言語文化オリエンテーション」動画配信	
			3 4	②「古文に親しむ」 ・音読するなど、リズムと雰囲気を楽しむ。 ・精読ではなく、親しみ、つながりを意識する。 ・文法【歴史的仮名遣い】	5 6 7 8	『宇治拾遺物語』絵伝師良秀① 絵伝師良秀② 随筆（生きる喜び） 「さくらさくらさくら」① 「さくらさくらさくら」②		
5			1 2	③「児のそら寝」 ・主語を押さえ展開を追う。 ・「おもしろさ」がどこにあるか、考える。 ・文法事項【文節、品詞】	9 10 11 12	言語活動「花」と言えば「桜」？ 「美しい」ということ① 「美しい」ということ② 随筆（日々の思い） 『徒然草』『龜山殿の御池に】		
	第1回 5月20日	古文入門 「古文に親しむ」 「児のそら寝」 「絵伝師良秀」	3 4	④「絵伝師良秀」 ・吉秀の価値観を読み取る。 ・自分の価値観や考えを比較する。 ・文法事項【用言の活用】	13 14 15 16	「奥山に、猫またといふものありて①」 「奥山に、猫またといふものありて②」 「雪のおもしろう降りたりし朝」 「今日はそのことをなさんと思へど」		
6			1 2	⑤「さくらさくらさくら」 ・筆者の「桜」観を読み取る。 ・自分なりの「桜」への思いを振り返る。 ・文章構成、随筆の特徴を学ぶ。	17 18 19 20	古文の窓「兼好法師、こんな一面も」 『枕草子』「うつくしきもの①」 「うつくしきもの②」 漢文入門 訓読の基本（1）訓読		
	第2回 6月20日	随筆（生きる喜び） 「さくらさくらさくら」 「美しいということ」	3 4	⑥「美しいということ」 ・筆者の考える「うつくしき」を読み取る。 ・自分なりの「うつくしき」を考える。 ・「対話」「回路」など、言葉に注目して読解する意識を高める。	21 22 23 24	訓読の基本（2）格言 故事成語「守株」 「五十歩百歩」 「借虎威」		
7			1 2	⑦「うつくしきもの」 ・前教材の比較から「うつくし」を理解する。 ・リズムを味わいながら、自分なりの「かわいらしい」という感情をまとめる。 ・文法事項【用言の活用】	25 26 27 28 29	詩歌1（命をうたう） 「柳あをめる」短歌① 短歌② 「雪の深さを」俳句① 俳句② 短歌俳句の読み方		
	第3回 7月20日	随筆（日々の思い） 「雪のおもしろう降りたりし朝」 「うつくしきもの」	3 4	⑧「雪のいとおもしろう降りたりし朝」 ・日本人の四季折々の風流心などを知る。 ・日本人の感性や文化のつながりを感じる。 ・文法事項【付属語の基礎】	30 31 32 33 34	詩歌2（うたの心） 「折々のうた」『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』 『梁塵秘抄』 『閑吟集』 言語活動「短歌を作る」		
8			1 2	⑨漢文入門 「訓読の基本」 ・中国と日本、言葉の繋がりを意識させる。 ・文法事項【訓読の基礎、特に返り点】				

			<p>⑩「故事成語」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の言葉の出典を学ぶ。 ・故事に見られる思想に触れる。 ・文法事項【書き下し文】 			「中間到達度チェック実施前の前半のまとめ」動画配信 8月後半
9			<p>詩歌1</p> <p>⑪「柳あをめる（短歌）」 「雪の深さを（俳句）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つ1つの解説だけに拘らず、短歌俳句を通して描き出されている心情や情景を、作品の言葉を通して感じ取る姿勢を育む。 ・自分なりに惹かれる作品の鑑賞を深める。 	<p>漢詩（漢詩を味わう）</p> <p>35 「春暁」 36 「黄鶴楼送孟浩然之広陵」 37 「涼州詞」 38 「春望」</p> <p>漢詩と日本文学</p>		中間到達度チェック レポート第1回～第3回 ○児のそら寝 ○さくらさくらさくら ○うつくしきもの
	第4回 9月30日	<p>漢文入門</p> <p>「訓読の基本」 「故事成語」 詩歌1（命をうたう） 「柳あをめる（俳句）」 「雪の深さを（俳句）」</p>	<p>詩歌2</p> <p>⑫「折々のうた」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「詩歌1」の学習を踏まえ、現代に続く韻文のリズムを味わい、表された考え、感じ方を捉える。 ・表現技法などを学ぶ。 ・自分なりに作品を解釈する。 ・文法事項【付属語文法的意味】 	<p>小説1（触れ合う心）</p> <p>39 三浦哲郎「とんかつ」① 40 「とんかつ」② 41 「とんかつ」③ 42 長嶋 有「雨漏りの音」① 43 「雨漏りの音」② 44 「雨漏りの音」③</p>		
10			<p>漢詩</p> <p>⑬「漢詩」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと音読を繰り返し、漢文のリズムを味わい、優れた表現に親しむ。 ・作品の背景や、作者の人生などから、作品の理解を深める。 ・漢詩の形式や決まりを学ぶ。 	<p>小説の読み方</p> <p>45 小説2（葛藤する心） 46 芥川龍之介『羅生門』① 47 『羅生門』② 48 『羅生門』③ 49 『羅生門』④</p>		
	第5回 10月20日	<p>詩歌2（うたの心）</p> <p>「折々のうた」 漢詩（漢詩を味わう） 「漢詩」</p>	<p>小説1</p> <p>⑭「とんかつ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語の構造や視点を意識させ、物語の読み方を深める。 ・登場人物の心情を、行動やその他の描写から解釈をする。 ・自分の身近な人間関係について考える。 	<p>50 『羅生門』⑤ 51 言語活動 「元になった古典作品と読み比べよう」 物語（古人の生き方） 52 『伊勢物語』『芥川』①</p>		
11			<p>小説2</p> <p>⑮「羅生門」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優れた描写を味わいながら、物語の展開をしっかりと把握する。 ・登場人物の考え方を捉え、自分なりの考えと照らし合わせる。 ・芥川の「羅生門」と古文における「羅生門」とを比較して味わう。 	<p>53 『伊勢物語』『芥川』② 54 「筒井筒」③ 55 「筒井筒」④ 56 言語活動 「和歌を自分の言葉で書き換える」</p>		
	第6回 11月10日	<p>小説1（触れあう心）</p> <p>「とんかつ」 小説2（葛藤する心） 『羅生門』</p>	<p>物語</p> <p>⑯「芥川」「筒井筒」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語の展開を、表現を適切に捉えながら理解する。 ・人物の心情理解を物語と和歌から深める。 ・恋愛や結婚、文章を元にした他の絵画や工芸など、作品から広がる世界を味わう。 	<p>57 『平家物語』『木曾の最期』① 58 「木曾の最期」② 59 「木曾の最期」③ 60 古文の窓「『平家物語』のあらまし」</p>		
12			<p>⑰「木曾の最期」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平家物語の背景を解説し、場面の理解を正確に行う。 ・時代を超え共通する人間の哀感を味わう。 ・文法事項【敬語の基礎】 	<p>61 論語（論語の言葉） 62 「学ぶということ」 63 「人間を見つめる」 64 「政治を考える」 65 「論語」の注釈を読む</p>		
	第7回 12月15日	<p>物語（古人の生き方）</p> <p>「芥川」 「筒井筒」 「木曾の最期」</p>	<p>⑱「論語」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちにも影響している孔子の儒学的な思想を読みとる。 ・表現された考えに対し、自分なりに考えをまとめる。 	<p>65 詩歌3（命をうたう） 66 高村光太郎「冬が来た」 67 佐藤春夫「少年の日」 68 吉野 弘「I was born」 69 言語活動 「歌詞の意味や表現技法について考えよう」</p>	「年度末試験実施前の後半まとめ」動画配信 12月後半	
1			<p>⑲紀行「奥の細道」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紀行文の構成を学び、旅の行程や芭蕉の考え方を読み取る。 	<p>69 紀行（旅の心） 70 『奥の細道』『旅立ち』 71 「平泉」 72 言語活動「文学碑を調べる」</p>		年度末試験 第4回～第6回 ○訓読、故事成語 ○折々の歌 ○とんかつ
	第8回 1月10日	<p>論語</p> <p>『論語』 史話（史話を楽しむ） 『三国志』 紀行（旅の心） 『奥の細道』</p>	<p>⑳史話「三国志」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の意味を意識して現代語訳し、登場人物の特徴を捉え、物語の展開を理解する。 ・「三国志」の面白さについて考える。 	<p>72 言語活動「古典芸能へのいざない」 73 史話（史話を楽しむ） 74 『三国志』『曹公戦於為義』『曹公以関羽為義』</p>		
2			<p>小説3</p> <p>㉑「夢十夜」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現に即して丁寧に読み、作者が作り出す不思議な世界観を味わう。 	<p>75 『世説新語』『魏武捉刀』 76 言語活動「三国志のあらまし」 77 小説3（現実の向こう側） 78 夏目漱石『夢十夜』① 79 『夢十夜』②</p>		
	第9回 2月15日	<p>小説3（現実の向こう側）</p> <p>『夢十夜』 『デューク』</p>	<p>㉒「デューク」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に心情の変化を追い、作品を自分なりに解釈する。 ・多様な読書活動を促す。 	<p>79 『夢十夜』③ 80 『夢十夜』④ 81 江國 香『デューク』① 82 『デューク』②</p>		
3				<p>83 江國 香『デューク』③ 84 現代文の窓「小説へのいざない」</p>		